

聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：16単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
1	青年心理学	2	2	藤掛 明	法務省少年鑑別所、少年院、刑務所	<p>法務省少年鑑別所、少年院、刑務所に勤務し、非行・犯罪の心理臨床の実務経験を積んだ。少年鑑別所および少年院での非行少年の面接および外来相談での一般青少年の面接の経験をもとに青年期の課題や危機について、臨床心理学や発達心理学の観点から、実践的知識を教授する。</p> <p>時代とともに変化し、多様化してきている青年期の心理的課題について概要を知ることができる。また、青年期にある自分自身について深く知ることができる。</p> <p>(1) 青年期に起こりがちな心理的問題や、関連した社会病理現象をとりあげ、その理解や援助・解決の道筋を考える。 (2) 同時に青年期にある自分自身を洞察し、実際のアセスメント技法を体験しながら、体感的に学ぶことを心がける。 ※「認定心理士」資格では、「選択科目f」（教育心理学・発達心理学）に区分される科目である。</p>
2	心理学的支援法	3	2	藤掛 明	法務省少年鑑別所、少年院、刑務所	<p>法務省少年鑑別所、少年院、刑務所の実務経験との関連：法務省少年鑑別所、少年院、刑務所勤務経験。法務省少年鑑別所、少年院、刑務所に勤務した経験をもとに、各種心理療法について実際的な知識を教授する。</p> <p>心理療法の目的、対象、およびそれぞれの心理療法の効果と限界について理解することを目指す。</p> <p>心理療法の前提となる「臨床的知」を理解し、そのうえで、代表的な心理療法の方法と効果・限界について学ぶ。さらに、心理学的支援の基礎となる良好な人間関係を築くためのコミュニケーション方法や、心理療法を進める上での実際的な問題、倫理的問題（プライバシーへの配慮）についても学ぶ。また、訪問による支援や地域支援、さらには心理的支援を要する者の関係者に対する支援、心の健康教育等幅広く学んでいく。</p>
3	精神保健福祉援助演習(専門) A	3	1	相川 章子	ソーシャルワーカーとして、医療機関、保健所、障害サービス事業所（就労支援、居住支援、相談支援）にて勤務経験	<p>ソーシャルワーカーとして、医療機関、保健所、障害サービス事業所（就労支援、居住支援、相談支援）にて勤務経験</p> <p>またキャンパスソーシャルワーカーとして、専門学校学生相談等。精神保健福祉士養成プログラムの一環として、事例をもとに実践的な授業を行う。</p> <p>精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>① 総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。</p> <p>② 個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレーイング等）を中心とする演習形態により行うこと。</p> <p>① 次に掲げる具体的な課題別の精神保健福祉援助の事例（集団に対する事例を含む。）を活用し、実現に向けた精神保健福祉課題を理解し、その解決に向けた総合的かつ包括的な援助について実践的に習得すること。（社会的排除、退院支援、地域移行、地域生活継続、ピアサポート、地域における精神保健（自殺、ひきこもり、児童虐待、薬物・アルコール依存等）、教育、就労（雇用）、貧困、低所得、ホームレス、精神科リハビリテーション、その他の危機状態にある精神保健福祉）</p> <p>② 次に掲げる事例を題材として、次に掲げる具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技指導を行うこと。（インテーク（受理面接）、契約、アセスメント（課題分析）、プランニング（支援の計画）、支援の実施、モニタリング（経過観察）、効果測定と支援の評価、終結とアフターケア）</p> <p>③ イの実技指導に当たっては、次に掲げる内容を含めること。（アウトリーチ、ケアマネジメント、チームアプローチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発）</p>

聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：16単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
4	精神保健福祉援助実習指導 A	3	1	相川 章子	ソーシャルワーカーとして、医療機関、保健所、障害サービス事業所（就労支援、居住支援、相談支援）にて勤務経験	<p>ソーシャルワーカーとして、医療機関、保健所、障害サービス事業所（就労支援、居住支援、相談支援）にて勤務 またキャンパスソーシャルワーカーとして、専門学校学生相談等。精神保健福祉士養成プログラムの一環として、実習準備を実施する。</p> <p>① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。 ② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 次に掲げる事項について個別指導及び集団指導 ① 精神保健福祉援助実習と精神保健福祉援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義 ② 精神保健医療福祉の現状（利用者理解を含む。）に関する基本的な理解 ③ 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解 ④ 現場体験学習及び見学実習 ⑤ 実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術に関する理解 ⑥ 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解 ⑦ 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解（個人情報保護法の理解を含む。） ⑧ 「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関する理解 ⑨ 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成</p>
5	健康・医療心理学	2	2	村上 純子	医療機関における心理師勤務経験	<p>医療機関に心理士として勤務し、心身症、精神科疾患の患者さんに対する心理療法及びストレスマネジメントに関する実務経験を積んだ。精神科病院および総合病院に勤務した経験をもとに、現代人の生活様式、疾病との関連性、ストレスケアの実態について言及し、心理士の観点から理論的・実践的知識を教授する。</p> <p>人間にとっての健康とはいかなるものか、健康心理学が目指すもの（健康の回復・維持・増進・疾病の予防を考え、生活習慣や行動などの改善をはかり、生活を豊かにしていくこと）を理解し、実践する手がかりを学ぶ。</p> <p>健康には「肉体的、精神的、社会的、霊的」の4つの側面がある（WHOの定義による）。</p> <p>本授業では、健康生活に関わる心理（主に精神的・社会的側面）の基本的理解を深め、さらに健康生活（健康維持行動）を構築、支援するための心理学的理論を学習する。</p> <p>また、健康教育に関する教材を作成することにより、実践に関しての理解を深めていく。</p>
6	社会・集団・家族心理学	1	2	村上 純子	医療機関における心理師勤務経験	<p>心理士として、複数の教育機関、医療機関などに勤務し、心理面接、心理アセスメント、心理療法に関する実務経験を積んだ。実際の現場での、心理面接、心理アセスメント、心理療法を行った経験をもとに、具体的事例の提示を通して理論的・実践的知識を教授する。</p> <p>この授業は、社会心理学、集団心理学、家族心理学といった、個人ではなく、複数の人を対象とした心理学を取り扱います。</p> <p>人は複数になるとお互いに影響し合い、個人とはまた違った考え方や、感じ方や、行動をするものです。それらの基本的な事柄を押さえていきますので、人間関係や集団、社会について考えるための知識を学び取ってください。</p> <p>1. 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 2. 人の態度及び行動 3. 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響 これらのことを学んでいきます。</p>
7	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	<p>精神保健福祉士として、地域の障害福祉サービス事業所等で9年間の実務経験がある。精神障害者や家族に対する相談援助の経験を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。 ・ 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 ・ 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。 ・ 相談援助に係る専門職の概念と範囲 ・ 専門職倫理と倫理的ジレンマ ・ 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容 ・ 総合的かつ包括的な援助を支える理論

聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：16単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
8	精神科リハビリテーション学A	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	<p>精神保健福祉士として、地域の障害福祉サービス事業所等で9年間の実務経験がある。精神障害者や家族に対する相談援助の経験を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。</p> <p>① 精神医療の特性（精神医療の歴史・動向や精神科病院の特性の理解を含む。）と精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する。</p> <p>② 精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。</p> <p>① 精神保健医療福祉の歴史と動向 ② 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識 ③ 精神科リハビリテーションの概念と構成 ④ 精神科リハビリテーションのプロセス</p>
9	精神科リハビリテーション学B	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	<p>精神保健福祉士の実務経験との関連：精神保健福祉士の勤務経験 精神保健福祉士として、地域の障害福祉サービス等事業所で9年間の実務経験がある。 精神障害者や家族に対する相談援助の経験を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。</p> <p>① 精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーション（精神科専門療法を含む。）の知識と技術及び活用の方法について理解する。</p> <p>② 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワーク（地域相談援助に係る組織、団体、関係機関及び専門職との連携についての理解を含む。）の実際について理解する。</p> <p>① 医療機関における精神科リハビリテーション（精神科専門療法含む）の展開とチーム医療における精神保健福祉士の役割 ② 精神障害者の支援モデル ③ 地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方 ④ 精神障害者のケアマネジメント</p>